

問 道路冠水情報の把握や 住民周知は

答 浸水把握のためセンサを増設する

問 本年も各地で大雨被害が発生している。村でも、9月に短時間大雨による冠水で車両通行に支障を来した。これまで、道路冠水状況の把握に向けセンサの設置を求めてきた。対策への取り組みはどうなっているか伺う。

答 村では本年度、国の浸水センサ実証実験に応募し採択を得た。それを受け、村内の主要幹線道路5カ所に設置し、センサの特性や情報共有の有効性を検証しながら迅速な災害対応に活用する。

問 この9月、村内の生活道路での冠水も見



公明党
うえき 植木 伸寿 議員



冠水が予想される箇所へ設置された浸水センサ

られた。さらなる浸水センサの増設を求める。また、周知方法として防災行政無線の他に、冠水状況等のデータを活用した住民周知への対策はできないか伺う。

答 村の冠水が予想される生活道路や、重要な施設周辺にセンサを増設する。リアルタイムで状況を把握し、早期の避難指示や交通規制の判断も可能となる。また、冠水情報発信については、村公式LINEの機能強化に併せてシステムの整備を検討する。

問 防犯カメラを活用した 防犯拡充策は

答 防犯カメラ貸し出し事業など検討する

問 今年度より開始した「住宅防犯対策補助事業」は、多くの申請があり、住民の防犯意識の高さが伺えた。支援対象を個人だけではなく、自治会等の団体も補助対象に加えてはどうか。

答 防犯カメラは、犯罪抑止効果が高く、自治会等も対象にすることで、地域の犯罪抑止効果が高まり「住民の安全・安心の確保」にもさらなる効果が期待できるが、映像の管理・運営等の課題もある。設置費の補助事業だけではなく、不法投棄対策や空き家への不



新政とうかい
おおうち のりお 大内 則夫 議員



警察と地域住民の協働による
防犯パトロール活動の様子

法侵入対策の観点からも「防犯カメラの貸出し」による防犯対策の拡充を検討していく。

問 グループビー縦の木公園など、多くの住民が利用する公園内への、防犯カメラ設置の見解は。

答 村内の都市公園内に防犯カメラは設置していない。導入に当たっては、個人情報保護等に配慮した運用が必要となる。先進事例や運用方法を調査研究し、大規模な都市公園については速やかに設置を進めていく。